

■■ 2022年6月:特集レポートダイジェスト ■■

特集①) 2022年上半期の首都圏新築マンション市場動向

P.1～15

- 【1】 2022年上半期の新築マンション市場
 - 【2】 2022年上半期の販売好調・堅調事例
 - 【3】 TOPICS: 茨城エリアの供給動向
- 【まとめ】

- ◆資料①: 2022年下半期 主な供給ラインナップ
- ◆資料②: 2022年1-3月 新規スタート物件 販売好調・堅調一覧
- ◆資料③: 2022年上半期(1-6月) 継続物件 販売好調・堅調一覧

特集②) 2022年上半期のお客様動向

P.1～12

～供給シェアが高まる価格帯の購入者プロフィール～

◆はじめに

- 【1】-①② 23区物件:『7000-8000万円台(60㎡以上)』住戸購入者の傾向
- 【1】-③ 23区物件:『7000-8000万円台(60㎡以上)』購入者プロファイリング
- 【2】-①② 23区以外物件:『5000-6000万円台(60㎡以上)』住戸購入者傾向
- 【2】-③ 23区以外物件:『5000-6000万円台(60㎡以上)』住戸購入者プロファイリング
- 【3】-①② 『1億～1.4億円』住戸の購入者傾向
- 【3】-③ 『1億円以上』住戸の購入者プロファイリング

【まとめ】

【資料①】

～次号(2022年7月)の予定～

◆特集レポート

- ・(仮) 2022年下半期 首都圏新築マンション市場の見通し
- ・(仮) 2022年7月 お客様意識調査

特集①) 2022年上半期の首都圏新築マンション市場動向

2022年上半期の首都圏新築マンションの供給戸数は約16,700戸(前年同期比-6%)と、供給棟数の減少により前年同期にやや届かず。但し、1棟あたりの供給戸数は、マーケットが好調だった前年同期と同等。供給ペースは順調な動きが続いており、マーケットは新規スタート物件への入れ替わりが進んでいる。本レポートでは、そうした2022年上半期の首都圏新築マンション市場について下記項目を分析・直近の傾向をまとめました。

【分析項目】

- ・2022年上半期の供給傾向(供給戸数、新規スタート率・供給エリア等)
- ・2022年上半期の商品傾向(新規スタート物件でみた坪単価・価格傾向等)
- ・販売好調・堅調事例 ・下半期の主なラインナップ 等

特集②) 2022年上半期のお客様動向

～供給シェアが高まる価格帯の購入者プロフィール～

首都圏新築マンション市場では、2022年上半期も価格上昇傾向が継続。2022年上半期は23区・23区以外に関わらず、先行物件よりも、価格は一段上昇した水準となってきている。

そうした中、お客様属性や資金計画に変化はみられるのか？また、お客様はどの様に住まい探しを進めているのか？、今後供給シェアの高まりが予想される以下価格帯の購入者について、具体事例のプロファイリング等より確認しました。

【購入者カテゴリ】

- カテゴリ① 23区物件:『7,000-8,000万円台(60㎡以上)』
- カテゴリ② 23区以外物件:『5,000-6,000万円台(60㎡以上)』
- カテゴリ③ 23区物件:『1億～1.4億円』